北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光文化論	科目コード	1585	単位数	2
担当者名	山田　勅之	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	B,C,F	実務経験	無
ナンバリング	KTo507	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

一般的に観光の現場で出会う文化事象を観光文化と呼びます。では、文化が観光の対象となるには、どのようなプロセスがあるのでしょうか？また文化が観光の対象となることで、どのような現象が起こっているのでしょうか？本講義では、このような問題意識のもと、「まなざし」「真正性」「伝統の創造」「文化の遺産化」といった観光文化論における論点を、様々な事例を通じて考察します。以上から、豊かな知識と柔軟な発想力の涵養を図ります。

到達目標

様々な事例から観光文化とは何か理解する。そこから商品となった観光文化がどのように売買されるのか、あるいは観光文化の生成過程において、地域住民や社会とどのような関係性が認められるのか、他の授業と連結させながら考察しよう。これらを通じて、国際社会と地域社会、そして観光産業に貢献できる力を身につけることができます。

授業内容

1週目 ガイダンス　観光文化論の論点
2週目 世界遺産：理念と現在
3週目 世界遺産：課題と未来
4週目 文化の遺産化①：白川郷
5週目 文化の遺産化②：和食
6週目 日本の中の「外国」①　大阪コリアタウン
7週目 日本の中の「外国」②　大阪大正区リトル沖縄
8週目 外国の中のNIPPON①　近現代台湾とは？
9週目 外国の中のNIPPON②　台湾近代化遺産
10週目 宗教とツーリズム①　祭りと宗教と社会
11週目 宗教とツーリズム②　近代が「創った」社寺参詣
12週目 宗教とツーリズム③　スピリチュアリティ、パワースポット
13週目 土産物の文化
14週目 ディズニーランドを読み解く
15週目 まとめ　小論文作成
16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

参考書や関連の文献に基づいて予習を行う（1時間程度）。
毎授業配布するレジュメの復習をする（1時間程度）。

成績評価の方法・基準

授業時に実施する小レポート　50%
期末テスト（小論文）　50%

履修上の留意点

・毎講義、質問やアンケートへの回答、及び小レポートの提出を課します。これらのうち、小レポートを除いてmanaba上で行いますので、スマホやタブレット、ノートパソコンなどのモバイル端末を持参ください（学内アクセスポイントを使用予定）。小レポートはレポート用紙を配布するので、回答のうえ提出します。
・遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。改善されない場合は不合格となることがあります。欠席・遅刻は授業参加度の観点から管理しますので、注意ください。
・毎回配布するレジュメはまとめの小論文作成に必要となるので、保管しておくこと。
・本講義は第6セメスター「観光形態論」の基盤科目として位置づけています。「観光形態論」の履修を考えている学生は、本講義を履修することを勧めます。

課題に対するフィードバックの方法

・小レポートは基準に基づいて3～5段階に評価して返却します。
・小レポートの提出がなされない場合、欠席扱いとするので注意してください。

テキスト

特になし。毎授業レジュメを配布する。

参考書

遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著『現代観光学―ツーリズムから「いま」がみえる』（新曜社）2310円
ジョン・アーリ著、加太宏邦訳『観光のまなざし―現代社会におけるレジャーと旅行』（法政大学出版局）5060円
ジョン・アーリ著、加太宏邦訳『観光のまなざし―現代社会におけるレジャーと旅行』（法政大学出版局）5060円
E・ホブズボウム, T・レンジャー編、前川啓治・梶原景昭他訳『創られた伝統』（紀伊國屋書店）5233円
ロドニー・ハリソン著、木村至聖他訳『文化遺産(ヘリテージ)といかに向き合うのか―「対話的モデル」から考える持続可能な未来』（ミネルヴァ書房）4950円

更新日付

2026/01/26 02:06